

「移動平均間カイリ度とは何か」

■移動平均間カイリ度

2本の移動平均線の離れ具合を表したものです。

カイリ度は、お分かりかと思いますが。株価と移動平均線の離れ具合を表したものです。

これも移動平均間カイリ度といえます。株価は周期「1」の移動平均とみなせますので。

例えば、25日移動平均線からの離れ具合という意味は、周期「1」（株価）と周期「25」の移動平均線の離れ具合という事です。

例 周期「5」と周期「25」

5日移動平均線と25日移動平均線。この2本がゴールデンクロスした、デッドクロスしたとよく耳にするかと思いますが。

■ゴールデンクロス前に仕掛けるには？

では、ゴールデンクロスしてから買うのではなく、ゴールデンクロス前に買いたい場合、どのタイミングで仕掛けるのが目安となるのか。それを教えてくれるのが移動平均間カイリです。

ゴールデンクロスするという事は、2本の移動平均線の離れ具合が縮まってきて、段々近づき、5日移動平均線が25日移動平均線を上回った瞬間がそれにあたります。

これを移動平均間カイリで表すと、「0」を下から上に突き抜けた瞬間となります。

移動平均間カイリは「0」が基準となり、その上、下でどういう向きとなっているか？という事をみます。

「0」を挟んで、上にいけばいくほど、2本の移動平均線は離れていっている、カイリでいうところの「上方カイリ」

また下にいけばいくほど、2本の移動平均線は離れていっている、カイリでいうところの「下方カイリ」

2本の移動平均線の幅が縮まった瞬間のタイミングが、移動平均間カイリ0以下、V字

「0」以下でどんどん狭まっている状態は、移動平均間カイリが上向き

「0」を上抜いてさらに上に向かっている状態は、2本の移動平均線の幅が広がっている。

「0」以上で、移動平均間カイリが上向きから下向き（逆V字）に変化した瞬間が、2本の移動平均線の幅が狭まった時

そこからさらに下に向かっている（下向き）の時は、どんどん2本の移動平均線の幅が狭まってきている

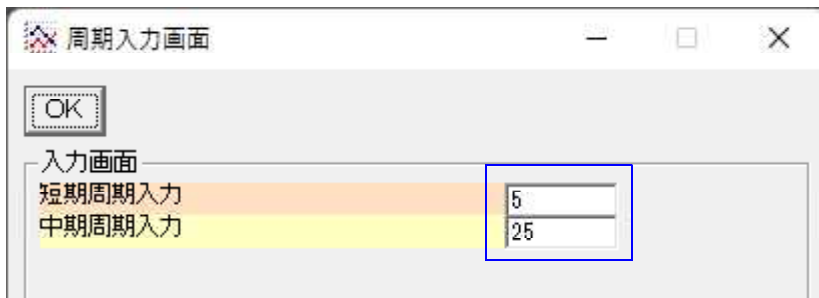
そして「0」を下抜いた瞬間がデッドクロスです。

■テクニカル指標解説より

分析チャート 指標 17番 移動平均間カイリ

<http://www.neuralnet.co.jp/jp/teck017.html>

周期入力画面



移動平均線同士の離れ具合を指数化したものである。

普通のカイリが終値と1本の移動平均線との離れ具合であるのに対して、移動平均間カイリは短期と中期2本の移動平均の離れ具合を表したもの。

この指標はその計算式から以下のような見方をすればより理解が深まる。

- 1) 指標が0ラインより下にあるときは、短期移動平均の方が中期移動平均より下に位置している。

逆に0ラインよりも上にあるときは、短期移動平均の方が中期移動平均より上に位置している。

- 2) 0ラインは、2本の移動平均がクロスするポイントであり、指標が0ラインを下から上に突き抜けたポイントはゴールデンクロス発生ポイント、

逆に指標が0ラインを上から下に突き抜けたポイントはデッドクロス発生ポイントである。

- 3) この指標が0ラインより下のポイントでV字に反発すれば2本の移動平均のカイリがそれまでの拡大傾向から縮小傾向に転換した事を意味する。

これはこの傾向がこの後も続けば近いうちにゴールデンクロスが発生する事を意味している。

逆に0ラインより上のポイントでΛ字に反落すれば2本の移動平均のカイリがそれまでの拡大傾向から縮小傾向に転換した事を意味する。

これはこの傾向がこの後も続けば近いうちにデッドクロスが発生する事を意味している。

この特徴を生かして、0以下のV字反発ポイントで買い、0以上のΛ字反発ポイントで売ればゴールデンクロスで買い、デッドクロスで売るよりもはるかに早く売買する事が可能となる。

「0」、上下抜け ゴールデンクロス・デッドクロス



0以下、V字 0以上、逆V字 2本の移動平均線の幅が狭まった瞬間



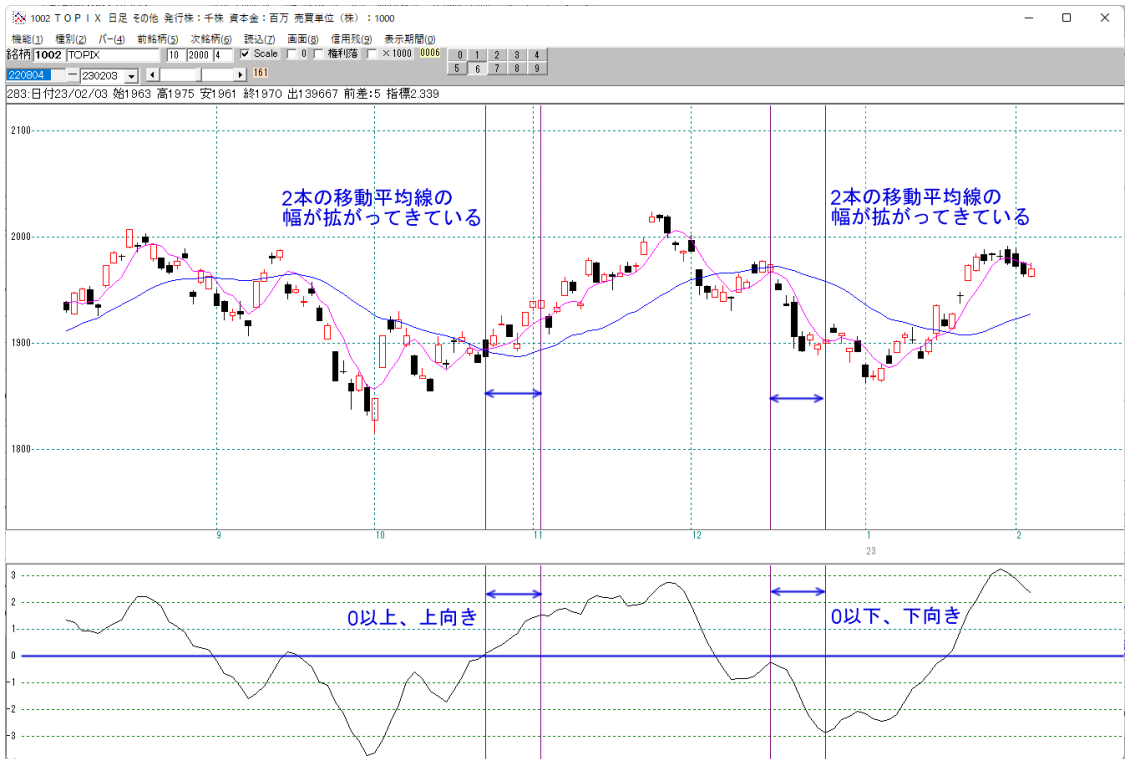
0 以上、V字 0 以下、逆V字 2本の移動平均線の幅が広がった瞬間



0 以上、下向き 0 以下、上向き 2本の移動平均線の幅が狭まってきている



0以上、上向き 0以下、上向き 2本の移動平均線の幅が広がってきている

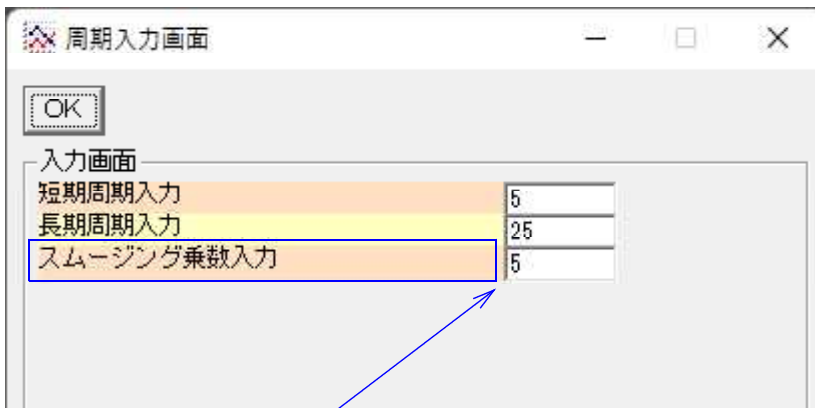


移動平均間カイリの線を見ていくと多少、上になったら下、下になったら上とデコボコしている時があります。

このデコボコをなめらかにして、方向性を持たせたのが「S移動平均間カイリ度」です。

「S」はスムージングの略です。簡単にいうと移動平均して、なめらかにした意味分析チャートの指標 18 番に登録されています。

周期入力画面



ここでなめらかにしている。今回は「5」日でスピードキューブ。

S 移動平均間カイリ度



デコボコが多少なりとも減りました。

スムージングの数値を大きくすると、もっとなめらかとなるがその分、株価に対して遅効性が大きくなってくるので一長一短です。

今回は周期「5」でスムージングしましたが、それでも、ゴールデンクロスしたタイミングより、ずれて「0」を超えてきます。

これは、移動平均線のV字でもいえます。平均していますので株価が底打ちしたタイミングから、多少V字が遅れるのと同じ事です。

パターンを色々書きましたが、2本の移動平均線がゴールデンクロスする直前を狙うなら、移動平均間カイリが0より少し下で、上向きになっているタイミングです。

デッドクロスする直前を狙うなら、移動平均間カイリが0より少し上で、下向きになっているタイミングです。

■移動平均間カイリの検索をする

絞り込み検索の59番には移動平均間カイリの検索が登録されています。

この検索で出来ることを解説します。

■絞り込み検索－59. 移動平均間カイリ検索

スムージング乗数を「1」にすると、移動平均間カイリとなります。

※「1」の場合は、スムージングしないという意味です。

期間を「0」にすると、さかのぼって数値を調べません。検索日のみについて調べます。

下記の設定だと、「検索日が0以下で、V字している状態」となります。

59.移動平均間カイリ検索

検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる

短期移動平均周期 5 期間 0 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 -999
スムージング乗数 1 以下 0

採用条件 検索日の移動平均間カイリの状態について
 上向き 下向き V字 逆V字 無視

以上、以下ですが、必ず数値を入力する必要があります。

例えば、「0」以下にしたい場合、以上の項目を上記のようにありえない数値にします。
以上は「-999」

「0」以上にしたい場合、以下の項目を下記のようにありえない数値にします。
以下は「999」

短期移動平均周期 5 期間 0 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 0
スムージング乗数 1 以下 999

株価が横ばい継続となると、2本の移動平均線の幅が狭くなりそれが続きます。
※「0」近辺を行ったり来たりします。

こうした銘柄を検索するには、例えば下記のようにします。

59.移動平均間カイリ検索

検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる

短期移動平均周期 5 期間 10 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 -0.2
スムージング乗数 1 以下 0.2

採用条件 検索日の移動平均間カイリの状態について
 上向き 下向き V字 逆V字 無視

10日間、「0」近辺が続いている。

今回は、「-0.2」～「0.2」としましたが、株価が横ばいであればあるほど、ここの数値は「0」に近い数値を入力します。

向きを「無視」にすることで、目先の移動平均間カイリの方向を除外しています。

●ゴールデンクロスに近い

59.移動平均間カイリ検索

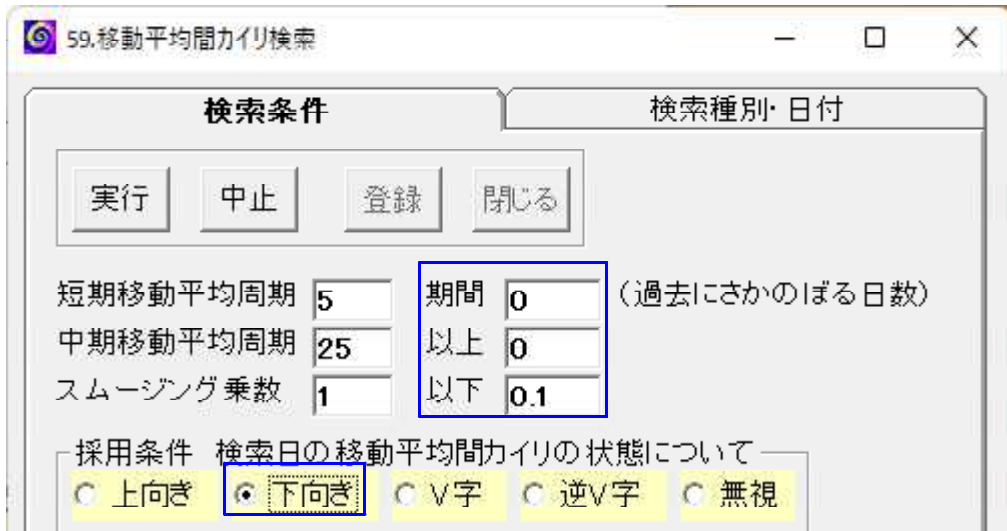
検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる

短期移動平均周期 5 期間 0 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 -0.1
スムージング乗数 1 以下 0

採用条件 検索日の移動平均間カイリの状態について
 上向き 下向き V字 逆V字 無視

●デッドクロスが近い



59.移動平均間カイリ検索

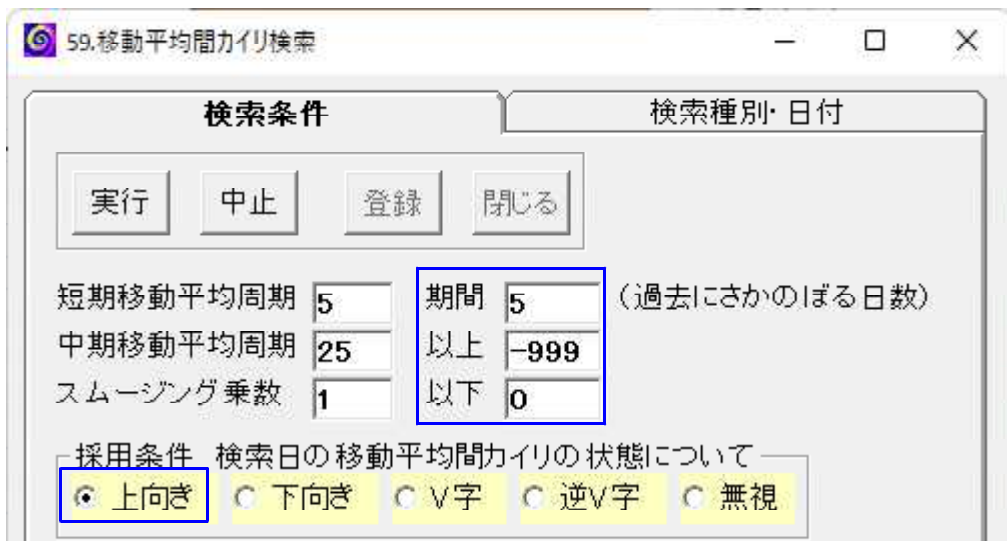
検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる

短期移動平均周期 5 期間 0 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 0
スムージング乗数 1 以下 0.1

採用条件 検索日の移動平均間カイリの状態について
 上向き 下向き V字 逆V字 無視

●2本の移動平均線の幅が狭まってきている



59.移動平均間カイリ検索

検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる

短期移動平均周期 5 期間 5 (過去にさかのぼる日数)
中期移動平均周期 25 以上 -999
スムージング乗数 1 以下 0

採用条件 検索日の移動平均間カイリの状態について
 上向き 下向き V字 逆V字 無視

この検索では、2本の移動平均線のゴールデンクロス、デッドクロス調べることは出来ません。

ゴールデンクロス・デッドクロスを検索したい場合、絞り込み検索中の

1. 移動平均G CDC、
2. 移動平均日柄をご利用ください。